

本学における研究倫理教育の実施について

現在、本学では研究を実施するにあたり、本邦で定められている研究指針及びガイドラインに則り、研究者等に対して以下2つの研究倫理教育の受講を求めています。

適用される研究指針及びガイドラインによって教育プログラム及び受講頻度等に違いがありますので、以下を確認のうえ、受講していただきますようお願いいたします。

岩手医科大学における研究倫理教育		
適用される研究指針及びガイドライン	研究指針（人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等）	研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン
対象者	研究指針に則って倫理審査申請を行い、研究を実施する本学の教職員（非常勤含む）、大学院生、研究員等	教職員、その他本学において研究活動に従事する者（非常勤を含む。）、本学において研究指導を受ける者、本学の施設設備を利用する者 ※ 大学院生は必須ではありませんが、希望があれば受講可能です。また、公的資金の提供を受けて実施する研究に関わる場合は受講を求められる場合があります。
研究倫理教育プログラム名	医学部倫理委員会教育セミナー（年4回実施） ※ セミナーの受講が難しい場合は、国立がんセンターが運営する「ICR研究入門」（e-learning）を受講することでも問題ありません。また、他に研究指針に合致すると思われる教育プログラム等がありましたら個別に確認いたしますのでご相談下さい。	eラーニング「eL CoRE」 ※平成29年度より前は「CITI JAPAN」を利用
教育内容	<ul style="list-style-type: none"> 研究指針の適用範囲 研究者、研究実施責任者の責務 研究計画書の作成、インフォームド・コンセント等を受ける手続き等 個人情報等に係る基本的責務 重篤な有害事象への対応 モニタリング・監査 不正行為、利益相反、その他 	<ul style="list-style-type: none"> 研究者の基本的責任 研究活動に対する姿勢、行動規範 実験・観察ノート等の記録媒体の作成、保管及び保存 論文作成に関すること 利益相反の考え方や守秘義務 その他
受講頻度	年1回以上 ※倫理申請を行う前に受講していただく必要があります。	3年に1回以上
その他	倫理申請する際、当該プログラムの受講証の写しの添付が必要となります。受講証に関してご不明な点等ございましたら、事務局までご連絡下さい。	研究倫理教育の受講は公的研究費（科学研究費助成事業等）の申請要件にもなっており、公的研究費の交付内定を受けた方には研究倫理教育教材の履修の誓約が求められます。

新たな「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」概要

背景

○文部科学省では、これまで「研究活動の不正行為への対応のガイドラインについて」(平成18年8月 科学技術・学術審議会 研究活動の不正行為に関する特別委員会)を踏まえて、大学等の研究機関に対して必要な対応を実施。

○しかしながら、研究活動における不正行為の事案が後を絶たないことから、「研究における不正行為・研究費の不正使用に関するタスクフォース」の取りまとめ(平成25年9月)、及び「研究活動の不正行為への対応のガイドライン」の見直し・運用改善等に関する協力者会議の審議のまとめ(平成26年2月)等を踏まえ、ガイドラインを見直し。

見直しの基本的方向

- ◆ 文部科学大臣決定として、新たなガイドラインを策定。
- ◆ 従来、研究活動における不正行為への対応が研究者個人の責任に委ねられている側面が強かったことを踏まえ、**今後は、大学等の研究機関が責任を持って不正行為の防止に関わることで、対応を強化**

新ガイドライン

〔 赤字: 新たなガイドラインで規定
黒字: 従来のガイドライン規定を踏襲 〕

第1節 研究活動の不正行為に関する基本的考え方

【不正行為に対する基本姿勢】

●研究活動における不正行為は、研究活動とその成果発表の本質に反するものであり、科学そのものに対する背信行為。個々の研究者はもとより、大学等の研究機関は、不正行為に対して厳しい姿勢で臨む必要。

【研究者、科学コミュニティ等の自律・自己規律】

●不正に対する対応は、まずは研究者自らの規律、及び科学コミュニティ、大学等の研究機関の自律に基づく自浄作用としてなされなければならない。

【大学等の研究機関の管理責任】

●上記に加えて、大学等の研究機関が責任を持って不正行為の防止に関わることで、不正行為が起こりにくい環境が作られるよう対応の強化を図る必要。特に、組織としての責任体制の確立による管理責任の明確化、不正行為を事前に防止する取組を推進。

- ◆ 共同研究における個々の研究者等の役割分担・責任の明確化
- ◆ 複数の研究者による研究活動の全容を把握する立場の代表研究者が研究成果を適切に確認
- ◆ 若手研究者等が自立した研究活動を遂行できるよう適切な支援助言(メンターの配置等)

第2節 不正行為の事前防止のための取組

【不正行為を抑止する環境整備】

1 研究倫理教育の実施による研究者倫理の向上

- 大学等の研究機関：「研究倫理教育責任者」の配置など必要な体制整備を図り、広く研究活動にかかわる者を対象に定期的に研究倫理教育を実施
- 大学：学生の研究者倫理に関する規範意識を徹底していくため、学生に対する研究倫理教育の実施を推進
- 配分機関：競争的資金等により行われる研究活動に参画する全ての研究者に研究倫理教育に関するプログラムを履修させ、研究倫理教育の受講を確実に確認

2 大学等の研究機関における一定期間の研究データの保存・開示

【不正事案の一覧化公開】

●不正行為が行われたと確認された事案について、文部科学省にて一覧化し、公開

第3節 研究活動における特定不正行為への対応（組織の管理責任の明確化）

【対象とする不正行為（特定不正行為）】

- 捏造、改ざん、盗用（注：従来どおり）

【大学等の研究機関、配分機関における規程・体制の整備及び公表】

- 研究活動における特定不正行為の疑惑が生じたときの調査手続や方法等に関する規程等を整備し、公表
 - ◆不正行為に対応するための責任者の明確化、責任者の役割や責任の範囲を定めること
 - ◆告発者等の秘密保持の徹底、告発後の具体的な手続きの明確化
 - ◆特定不正行為の調査の実施などについて、文部科学省等への報告義務化

【特定不正行為の告発の受付、事案の調査】

- 特定不正行為の告発の受付から、事案の調査（予備調査、本調査、認定、不服申立て、調査結果の公表等）までの手続き・方法
 - ◆告発・相談窓口の設置・周知 ※告発・相談窓口の第三者への業務委託も可能
 - ◆大学等の研究機関における調査期間の目安の設定
 - ◆調査委員会に外部有識者を半数以上入れること（利害関係者の排除についても規定）
 - ◆調査委員会が必要と認める場合、調査委員会の指導・監督の下に再現実験の機会を確保
 - ◆調査の専門性に関する不服申立ては、調査委員を交代・追加等して審査

第4節 特定不正行為及び管理責任に対する措置

【特定不正行為に対する研究者、大学等の研究機関への措置】

- 特定不正行為に係る競争的資金等の返還（※）
- 競争的資金等への申請及び参加資格の制限（※）

（※競争的資金等のみならず、運営費交付金等の基盤的経費により行われた研究活動の不正行為も対象とする。）

【組織としての管理責任に対する大学等の研究機関への措置】

1 組織としての責任体制の確保

- 研究活動における不正行為への対応体制の整備等に不備があることが確認された場合、文部科学省が「管理条件」を付与
- 管理条件の履行が認められない場合、機関に対する「間接経費」を削減等の措置

2 迅速な調査の確保

- 正当な理由なく特定不正行為に係る調査が遅れた場合、「間接経費」の削減措置

第5節 文部科学省による調査と支援

【研究活動における不正行為への継続的な対応】

- 文部科学省に有識者による検討の場を設け、フォローアップ等を継続的に実施

【履行状況調査の実施】

- 大学等の研究機関に対し、本ガイドラインを踏まえた履行状況調査を実施し公表

【研究倫理教育に関するプログラムの開発推進】

- 文部科学省は、日本学術会議や配分機関と連携し、研究倫理教育に関する標準的なプログラムや教材の作成を推進

【大学等の研究機関における調査体制への支援】

- 大学等の研究機関において十分な調査を行える体制にない場合は、日本学術会議や配分機関と連携し、専門家の選定・派遣等を支援

今後の予定

- 新ガイドラインの周知徹底。新ガイドラインに基づく導入準備（規程・体制整備など）：**「集中改革期間」**
- 新ガイドラインの適用：平成27年4月1日



研究倫理eラーニング 受講マニュアル (ver.2.6)

日本学術振興会

受講の進め方についてご説明します。

- 1. 推奨環境 ……P3
- 2. 「マイルーム」へログイン ……P4
- 3. 「マイルーム」から学習ページに入る ……P5
- 4. 本eラーニング内での学習 ……P6
 - 4-1. 各種メニューボタン、ページ遷移ボタン ……P7
 - 4-2. 事例学習の進め方 ……P8
 - 4-3. テストの受験 ……P10
 - 4-4. コースレビュー（アンケート）への回答 ……P11
- 5. 修了証書の表示 ……P12
- 6. 別コースの申込 ……P13
- 7. よくあるご質問・お問い合わせ ……P14

1. 推奨環境

OS

Windows 8.1、Windows 10、Mac OS 10.10、Mac OS 10.11

ブラウザ

Internet Explorer 11（デスクトップ版）、Microsoft Edge、Safari 8.0 以上

※Firefox など、標準サポートブラウザ以外での受講に関しましては、一部不具合が発生する可能性があります。

画面解像度

1024x768 pixel 以上

※1024 x 768 pixel では、一部のコースやサービスで快適に利用できない場合があります。

通信速度

ブロードバンド環境推奨

※ADSL 1.5 Mbps 以上を推奨いたします。

2. 「マイルーム」へログイン

下記アドレスにアクセスします。

<https://elcore.jsps.go.jp/top.aspx>

画面左上にある「受講者ログイン」にユーザIDとパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

受講者ログイン

abc1234567

●●●●●●●●

ログイン

ユーザID・パスワードを忘れた場合はこちら

新パスワード発行

新パスワード発行

ご利用の案内

- ・入力したメールアドレスがご登録の電子メールアドレスと一致した場合、新しいパスワードを送信いたします。（以前のパスワードとは異なります）
- ・再発行後24時間以上経過しないと、次回の再発行手続きはできません。
- ・新パスワードを記載したメールが届かない場合には、別途お問い合わせ窓口までご連絡ください。

メールアドレス (必須)

ユーザID (任意)

パスワード送信

ユーザID・パスワードをお忘れの場合は、「新パスワード発行」画面より再発行することができます。ご登録のメールアドレスを入力のうえ再発行してください。

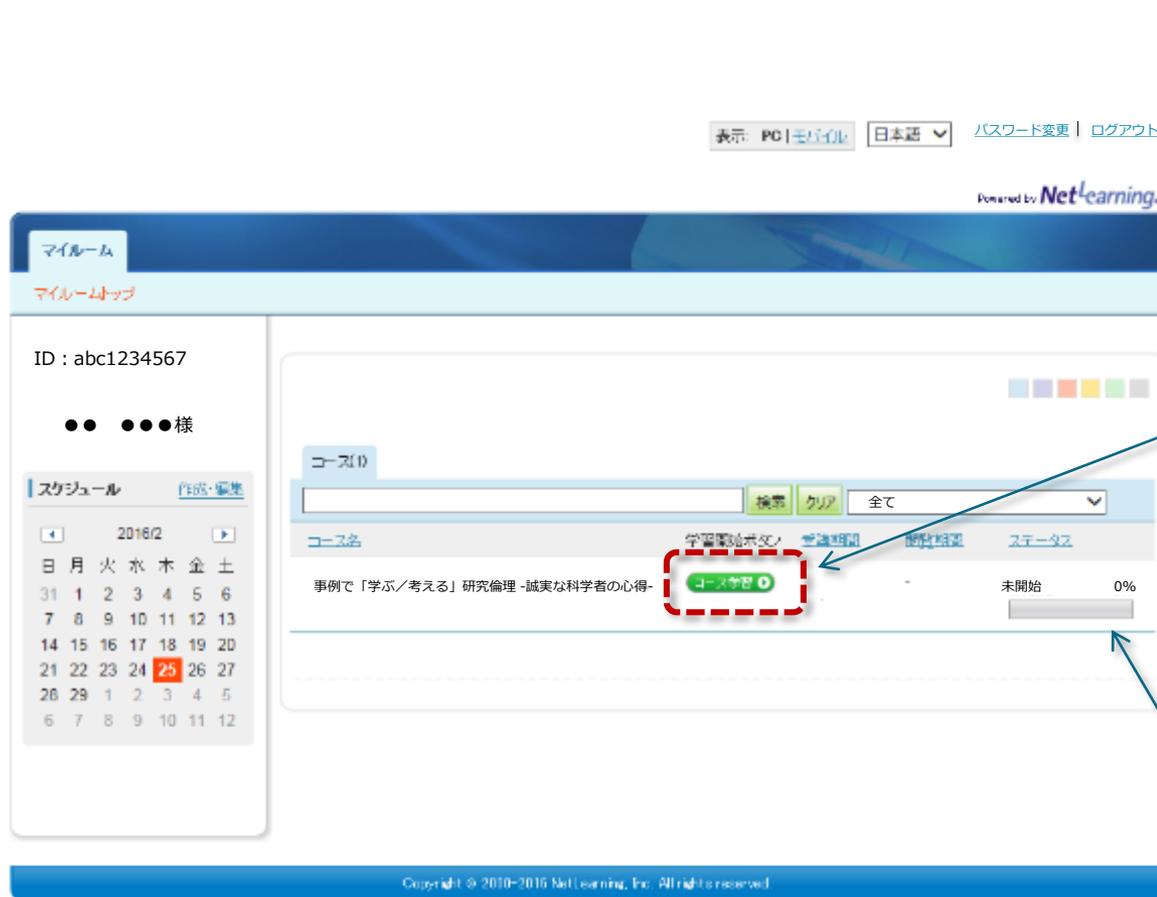
※画面のイメージは一部実際のものと異なる場合があります。

3. 「マイルーム」から学習ページに入る

ログインすると、「マイルーム」ページが表示されます。

「コース学習」ボタンをクリックすると、研究倫理eラーニングの学習を開始できます。

マイルームでは、学習進捗の確認や、パスワードの変更ができます。



パスワード変更

ログインパスワードを変更できます。

ログアウト

クリックするとマイルームからログアウトします。

コース学習

クリックし、学習を開始してください。

進捗バー、ステータス

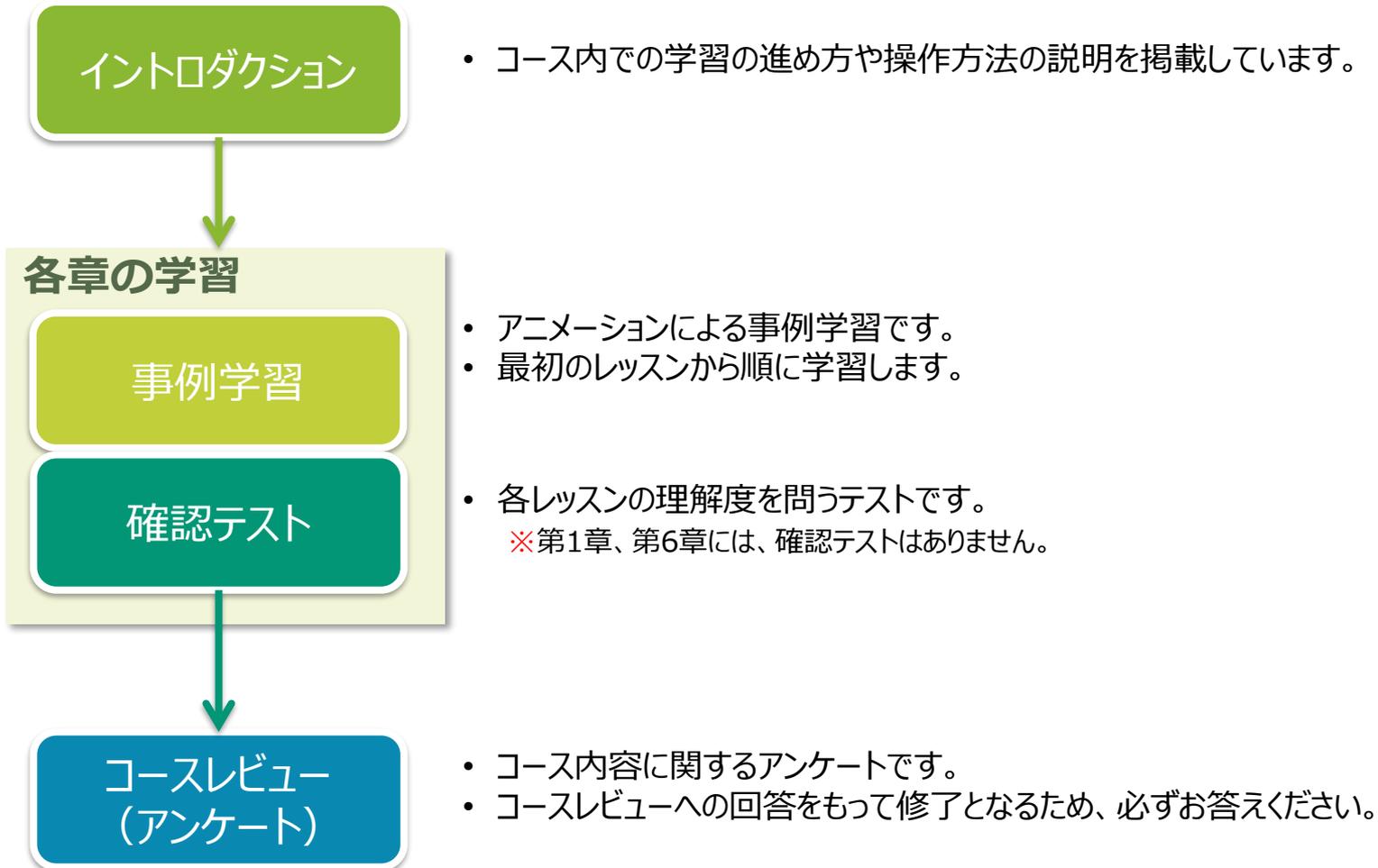
進捗度がバーと%で表示されます。
各ステータスは以下のとおりです。

- **未開始**… 一度も学習ページに入っていない
- **受講中**… 学習中で未修了
- **閲覧中**… 受講期限切れ、閲覧期間中
- **期間終了**… 受講期限・閲覧期限切れ
- **修了**… コース学習を修了（完了）

※画面のイメージは一部実際のものと異なる場合があります。

4. 本eラーニング内での学習

以下の流れで学習を進めます。



4-1. 各種メニューボタン、ページ遷移ボタン

メニューボタンの操作説明です。



ページの遷移は画面下のボタンで行います。

※画面のイメージは一部実際のものと異なる場合があります。

マイルーム

クリックすると「マイルーム」に戻ります。

コース情報

本eラーニングの概要ページです。
学習時間の目安や学習内容を確認できます。

目次

本eラーニング内の目次ページです。
学習済みの目次項目はリンクになっており、
クリックで移動することができます。
リンクになっていない項目は未学習のため進むことができませんので、最初から順に受講してください。
※ 既に学習済みのレッスンがクリックできないときは、
目次画面を閉じ、再度表示させてください。

学習成績

学習結果のページです。
事例レッスンの欄：
各事例を最後まで学習すると、「解答日」に完了日が表示されます。
※事例に含まれる「クイズ」の正解は修了条件にふくまれません。そのため、正解率が100%でなくても修了証書が発行される場合があります。

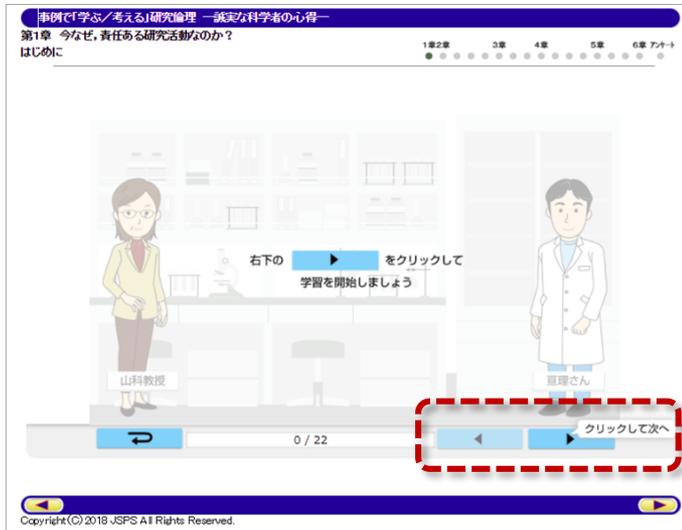
確認テストの欄：
各テストに解答すると、「回数」、「解答日」、「正解数」が表示されます。

ガイダンス

基本的な操作等の説明が記載されています。
初めて受講される方は必ずお読みください。

4-2. 事例学習の進め方

事例学習ページの操作方法です。



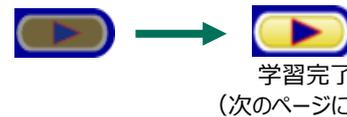
事例のアニメーションは、このボタンで操作します。

▶ をクリックし、学習を始めてください。



事例内の各セクションに移動できます。
まだ学習していないセクションはクリックできません。

事例を最後まで学習すると、次の学習に進むことができます。



※画面のイメージは一部実際のものとは異なる場合があります。

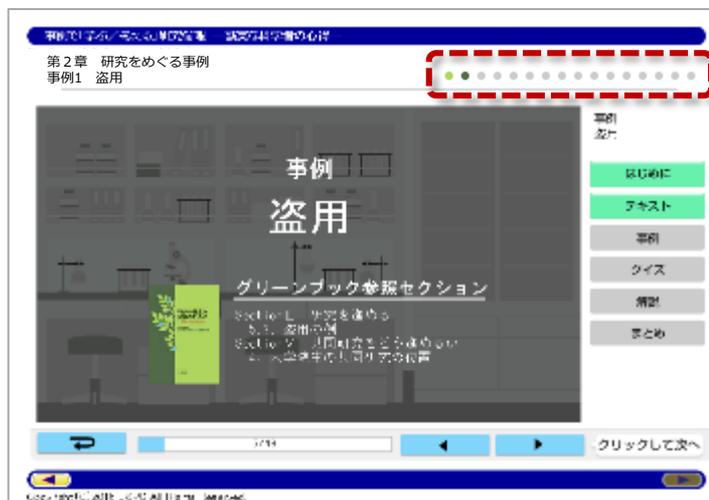
4-2. 事例学習の進め方

事例の途中で学習をやめた場合



学習を再開する際に **つづきから** を
クリックすると、前回見たページから開始できます

学習の進捗



学習の進捗を表しています。

※画面のイメージは一部実際のものとは異なる場合があります。

4-3. テストの受験

各章の最後には、理解度をはかる確認テストがあります。正しい選択肢を全て選び、「解答完了」ボタンをクリックして解答を送信してください。テストの結果はすぐに採点され、画面に表示されます。全問正解しないと、次の章に進むことはできません。

第2章 研究をめぐる事例

確認テスト1 捏造・改ざん・盗用

これまでの学習の理解度を確認します。
設問に解答し、「解答完了」ボタンをクリックしてください。

Q1	『レッスン1 捏造・改ざん・盗用』の「事例・解説・まとめ」で学習したことについて説明する以下の文章のうち、以下の各文を読み正しいものを全て選んでください。
	<input type="checkbox"/> A. <input type="checkbox"/> B. <input type="checkbox"/> C. <input type="checkbox"/> D. <input type="checkbox"/> E.



※画面のイメージは一部実際のものとは異なる場合があります。

4-4. コースレビュー（アンケート）への回答

コースの最後にコースレビュー（アンケート）にお答えください。すべての設問に対して選択肢を選択し、「回答完了」ボタンをクリックして回答を送信してください。

コースレビュー（アンケート）への回答をもってコース修了となりますので、必ずお答えください。

【1】 本e-ラーニングシステムは、「科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－」（日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会編、通称「グリーンブック」（以下、「グリーンブック」という。))をもとに作成しております。そこで、以下の項目についてお伺いします。	
Q1	★1.1 本e-ラーニングの受講にあたって、グリーンブックを参照しましたか？（回答必須） <input type="radio"/> A. はい <input type="radio"/> B. いいえ
Q2	★1.2 本e-ラーニングを受講してみて、今後、研究倫理教育をより深く学修する際に、グリーンブックを活用してみようと思いましたが？（回答必須） <input type="radio"/> A. はい <input type="radio"/> B. いいえ <input type="checkbox"/> F. ワークショップやセミナーで聞いて <input type="checkbox"/> G. その他
Q19	4.5 4.4で「その他」を選んだ方は具体的にお書きください。（任意回答） <div style="border: 1px solid gray; height: 60px; width: 100%;"></div>



※画面のイメージは一部実際のものとは異なる場合があります。

5. 修了証書の表示

コースを修了しますと、修了証書がダウンロード可能になります。

「マイルーム」ページより、「修了証書」ボタンをクリックしますと、PDF形式の修了証書が表示されます。

The screenshot shows the NetLearning user interface. At the top, there are navigation options: 表示: PC | 英語 | 日本語 and links for ログイン/ログアウト. The main header includes 'マイルーム' and 'マイルームトップ'. On the left, there is a 'スケジュール' (Schedule) section with a calendar for 2016/2. The main content area displays a course titled '事例で学ぶ「考える」研究倫理 読書な科学者の心構え'. The course status is '完了 100%' (Completed 100%), and a red dashed box highlights a '修了証書' (Certificate) button. An arrow points from this button to the certificate preview on the right.

修了証書 (PDF形式)

修了証書には、「氏名」と「修了年月日」が表示されます。

The certificate preview shows the following details:

- Header: 修了証書 Certificate
- Name: 山科 誠志 殿
- Text: 貴殿は日本学術振興会が提供する研究倫理eラーニングコースを修了されたことをここに証明いたします。
- Completion Date: 修了年月日: 2016年 4月 20日
- Logo: 日本学術振興会 (JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCES)

※画面のイメージは一部実際のものとは異なる場合があります。

6. 別コースの申込

「マイルーム」ページより、「申込」タブをクリックしますとコース申込画面が表示されますので、コース名にチェックを入れ、「確認」ボタンをクリック⇒「申込」ボタンをクリックしてください。コースが受講できるようになります。

マイルーム リサーチ 申込

コース申込

ID: NLM00000161

ビジネス ユーザー1様

スケジュール 作成・編集

2016/8

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10

コース(2)

コース名 学習開始ボタン 受講期間 閲覧期間 ステータス

コース名	学習開始ボタン	受講期間	閲覧期間	ステータス
事例で「学ぶ／考える」研究倫理 - 誠実な科学者の心得	コース学習	2013/12/18 - 2014/06/18 - 2014/06/17	2014/12/17	0%

■コースを選ぶ

[コース申込] (どちらでも可) をクリックすると、コース申込画面が表示されます。

申込コース一覧

コース名の左端にチェックを入れ、「確認」ボタンをクリックしてお進みください。

確認

コースID	コース名
<input checked="" type="checkbox"/>	00051N11 Understanding Research Ethics Through Case Examples—The Attitude of the Conscientious Scientist

確認

■コースを申し込む

該当コースにチェックを入れ、[確認] [申込] を押すと、即時に受講が可能になります。

※新規登録画面からも英語コースの申込ができます。
その場合、IDは新規発行になります。
<https://elcore.jsps.go.jp/top.aspx>

※画面のイメージは一部実際のものとは異なる場合があります。

7. その他

1. よくあるお問合せ（FAQ）

受講中の「よくあるご質問」は、以下のリンク先に掲載しています。
受講中にお困りのことがありましたらご参照ください。

<https://elcore.jsps.go.jp/faq.aspx>

2. 株式会社ネットラーニング運営事務局へのご連絡先

「よくあるご質問」を見ても解決しない問題がございましたら、以下の宛先にメールでお問い合わせください。

株式会社ネットラーニング 研究倫理eラーニング運営事務局

Email : support@netlearning.co.jp

※メール送信後2営業日以内に事務局から回答がない場合は、大変お手数ですが、宛先メールアドレスをご確認のうえ、再度お問い合わせください。
(土・日曜日、祝祭日、年末年始（12/29～1/3）は非営業日)



研究倫理eラーニング受講マニュアル (ver.2.6)

日本学術振興会

Copyright © 2019 JSPS All Rights Reserved.